

三沢市立三沢病院での実習を終えて

弘前大学 医学部医学科5年 伊東 なつみ

3月6日から始まった実習が終わりました。初めての实習にたった1人で挑むことには勇気がいりました。始まる数日前から緊張しだし、どきどきしながら迎えた初日、皆さんがとても暖かく迎えて下さり緊張が少し解けたことを思い出します。

実習期間は4週間でしたが、1週目から沢山の手術を見学させていただきました。先生や看護師さんたちは、本当に右も左も分からない未熟な私に、有り余るほどの機会を与えてくださいました。私がやらない方が早くきれいに終わるにも関わらず、様々な処置をやらせてもらったことに感謝しています。反省することもありましたが、そこから多くを学びました。こんなことをやってみたくて言えば、すぐにその機会を与えて下さり、外科という垣根を越えて様々な医療を学ばせていただきました。患者さんともお話する機会がありましたが、どの方も暖かく接して下さり回診に行かせていただく時間が楽しかったです。そばで見守ってご指導くださり、本当にありがとうございました。



さてここからは、三沢で1ヶ月過ごした体験記の一部を記します。三沢は私の生まれ育った地で実家もありましたので、実習が終わったら実家に帰っていました。母が作るおいしいご飯をおなかいっぱい食べ、あったかいお風呂に入って1日を締めくくっていました。父は私の好きなスイーツをたくさん買って応援してくれました。1日の最後に、家族団らんで話す時間はとても楽しかったです。おいしいご飯を家族で食べるにいたり、先生や先輩方にご飯や観光に連れて行ってもらったりと、楽しい毎日でした。年度末で忙しい中、ありがとうございました。

4月から大学病院での実習が始まりましたが、三沢病院で学んだことが生きていることを実感しています。楽しかった1ヶ月の思い出とともに、弘前でも真摯に学びたいと思います。改めまして、お世話になった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2023.3.6~2023.3.31